

タイトル「青い羽見つけた！」

はやと「ある日、学校の帰り道、見たことのない羽を見つけた。

綺麗な青い羽の色。こんな羽の鳥が、どこかにいるのかな？」

はやと「見て！見たことのない羽が落ちてたよ！珍しい鳥かな？」

ひな「きれい！」

ひな「そうだ！私たちで探しに行こうよ！」

はやと「賛成！」

はやと「僕、水筒持ってくるよ！」

カラス「君たち」

カラス「闇雲に探しても、見つからないかもしれないぞ！」

ひな「えっ、カラスがしゃべった……」

カラス「鳥には鳥の生活ってものがあるのさ。君たちと同じようにね……。

僕が案内してあげよう。」

はやと「本当！？ありがとう！やった〜！」

ひな「あれっ、この前ハンガーを持って行ったカラスに似てるな……。」

カラス「まずは鳥の目線になって探検に出発だ！」

はやと「カラスが僕たちを背中に乗せてくれた。

青い羽の持ち主を探しに出発！」

青い羽
みつけた！

はやと「わあ高い！」

空から見おろすと、僕たちの街が小さく見える。」

カラス「さあ、まずは公園からだ。」

はやと「ここたまに遊びに来る公園だよ。ここに鳥がいるの？」

カラス「さあ、どうかな。普段は気にとめない所を見てみるといいよ……。」

ひな「あっ 見てーあそこ」に鳥がいる！」

はやと「公園を探検しよう！」

……でも、どこを探せば鳥がいるんだろう？」

カラス「鳥には色々な種類がいて、それぞれ食べるものや習性も違う。

場所によって、いる鳥も違うんだ。」

カラス「地上、低い藪の中、木の枝、人家の近く、池や川などの水辺もあるね

どんな鳥がいるのか探してみるといいよ。」

カラス「そして季節によっても、見られる鳥は違うよ。」

カラス「鳥には季節によって、住む場所を変える「わたり」という習性があるんだ。

春に渡ってきて、夏に見られる鳥を夏鳥、

秋から冬に見られる鳥を、冬鳥というよ。

これらは短い間にしか出会えない鳥たちだね。

わたりの途中で、羽を休めに立ち寄るだけの、旅鳥と呼ばれる鳥もいるよ。」

ひな「いつも同じ鳥がいるわけじゃないんだね。」

カラス「大きな移動はせず、だいたいいつも見られる鳥は留鳥というよ。

留鳥も、わたりほどではなくても、季節によって移動することもあるんだ。」

カラス「公園で見られる鳥もいっぱいいるね。」

ひな「私たちの家や学校の近くにある公園にもいっぱいいるんだね。

木の枝に止まっていたり、水辺にもいるよ。探すのは楽しいな!」

ひな「逆さまにとまっている鳥がいるよ。」

カラス「あれは、エナガという鳥だよ」

ひな「エナガは逆さまに止まれるんだね!」

カラス「ツミやキビタキ、コゲラ、ハクセキレイなども公園で見られる鳥だよ。」

カラス「ホーホケキョ」というきれいな声でさえずるウグイスという鳥もいるね。

絵本の中にもいるから探して!」らん。」

カラス「みつけたかな? ふだんは草や木がしげるやぶの中にいるので、姿をみつけるのは

大変なんだ。」

はやと「こっちにもきれいな羽の鳥がいっぱいいるなあ。」

カラス「オオルリやオナガ、モズやムクドリなどもあるね。」

カラス「さあ、ここではサンコウチョウを探してみよう。見つかるかな。」

カラス「みつけたかな？サンコウチョウはスギ林や暗い森で子育てをするよ。くちばしと目のまわりはきれいな青色なんだ。オスの尾はおどろくほど長いよ。あまり姿を見られないので、会えたらラッキーだね。」

カラス「次は池で見られる鳥たちを探してみよう。」

カラス「豊かな水辺には魚やエビやヤゴ、様々な水草があり、それを食べる鳥たちが集まって来るね。

水辺の様子をじっくり観察してみよう。」

カラス「同じように泳いでいるように見えても、潜って餌を食べる鳥、

水面のものを食べる鳥では、体のつくりが違うよ。」

カラス「水辺にはダイサギやマガモ、カイツブリやカワウもいるね。」

カラス「カルガモを見てごらん。親鳥の後をヒナ鳥たちが列になって歩く姿も見られるよ。ヒナ鳥は何羽いるかな？」

カラス「7羽いたね。分かったかな。」

カラス「こちらでは水辺のファッションショーがはじまっているよ。」

カラス「水辺にはユニークな姿の鳥がいっぱいいるんだ！

アオサギ、キンクロハジロ、ホシハジロ、オオバン、オシドリ、カワウ、カイツブリ
どれも特徴的な姿をした鳥ばかりだね。」

カラス「まるでパンダのような顔をした鳥がいるけど分かるかな？

探してみよう！」

カラス「分かったかな？ミコアイサという鳥だね。オスは「パンダガモ」

と呼ばれる事もあるんだ。」

ひな「いっぱい鳥に会えて面白かった！」

カラス「鳥の目線になってみると、色々な鳥がいるのに気付くだろう？」

ひな「うん！」

ひな「木の上にも、原っぱにも、池にも、知らない鳥がいっぱいたね。」

はやと「うん！青い羽の鳥もいたね。

でもこの羽とはちょっと違うなあ……。」「

カラス「公園以外にも鳥のいる場所はあるよ。

次は、君たちの住む町へ行ってみよう。」

はやと「僕たちの家の近くだ！」

あつ！「ここ学校に行くとき通るんだよ。」

あそこはパン屋さん！」

カラス「さあ、次は君たちの住む町の中で見られる鳥たちだ。」

カラス「昔は森や山に住んでいたけれど、町でも見られるようになった鳥もいるよ

町で工夫して生きる鳥たちを探してみよう。」

カラス「カラスがどこにいるか分かるかな？」

カラス「よく見つかったね。カラスはとても頭がよくて、貝やクルミを車にひかせて殻を

割り、中身を食べる事もあるんだ、カラスにもハシフトガラスとハシボソガラスと

いう種類もあるよ。」

ひな「同じように見えても違うんだね！」

カラス「シジュウカラやメジロ、ヒヨドリも町でも見ることが出来るね。」

キジバトやドバト、ツバメ、スズメなども町の中で見ることが出来るんだ。

町で見る事ができる鳥はポストや電柱など、人の作ったものを使って、

巣作りをする鳥もいるよ。」

はやと「日が暮れてきた。」

ひな「青い羽の鳥いないねえ。」

はやと「やっぱり、すぐには会えないのかなあ……。」「

はやと「あれっ？」

はやと「あっ！あそこ！青い羽の鳥がいる！」

ひな「えっ！」

はやととひな「あっ……！」

はやと「こんにちは！これは君の羽？」

カラス「羽の持ち主はカワセミだったね。」

ひな「やったあ！会えた！」

カラス「カワセミは宝石のヒスイのような美しい色の羽をした鳥だよ。」

川辺などで、小魚をとって食べるんだ。「チィー」と鋭く高い声で鳴く。

清流でしか見られなかった時もあるが、最近は公園の池や都心の川などでも見られるよ。」

カワセミ「ボクは魚をとるのが上手なんだ！」

カワセミ「ふくん。それでぼくを探していたのか。」

最近、君たちの家の近くの川でも暮らしているんだよ。」

はやと「会えてよかった！」

ひな「またね！」

カワセミ「ああ、じゃあな！とった魚は彼女へプレゼントするのさ！」

ひな「私お腹空いちゃった。」

はやと「僕も。」

カラス「僕たちもそろそろ家に帰ろうか。」

はやと「いろいろな鳥の音がするね。」

カラス「日が暮れて、みんな寝ぐらに集まって行くんだ。」

はやと「今日はありがとう！とっても楽しかった。」

カラス「僕もそろそろお暇するよ。」

はやととひな「また会える?」

カラス「さあね!」

カラス「探してごらん、羽をたよりに!」

あお
青い羽
はね
みつけた!

© Noovo Inc. / 青い羽みつけた! 製作委員会